

平成28年度

相模原市中沢財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

相模原市監査委員

平成29年8月10日

相模原市中沢財産区管理者

相模原市長 加山俊夫 殿

相模原市監査委員 彦根 啓

同 坪井 廣行

同 金子 豊貴男

同 石川 将誠

平成28年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について
(提出)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき、審査に付された平成28年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

以 上

平成28年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

目 次

第1	審査の対象	3
第2	審査の期間	3
第3	審査の方法	3
第4	審査の結果	3
第5	審査の意見	3
第6	審査の内容	4
1	決算の概要	4
(1)	歳入	4
(2)	歳出	7
2	実質収支に関する調書	9
3	財産に関する調書	9

- (注) 1 文中に用いた金額及び面積は、単位未満は切り捨てた。
また、表中に用いた金額のうち千円単位については、原則として単位未満は切り捨てた。このため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 比率は、原則小数点第2位を四捨五入した。このため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 文中に用いる「ポイント」とは、パーセント間の単純差引数値である。
- 4 各表中の符号の用法は次のとおりである。
「0.0」…… 該当数値はあるが単位未満のもの
「100.0」…… 単位未満を四捨五入したもの
「△」…… 収支不足額を示し、又は増減では減を示すもの
「ー」…… 算出不能、該当数値のないものなど

第1 審査の対象

- 1 平成28年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算
- 2 上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第2 審査の期間

平成29年7月4日から平成29年8月8日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、中沢財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算は適正かつ効率的に執行されているかなどを主眼として、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続により実施した。

また、例月現金出納検査を参考にして審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された中沢財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令に規定された様式により作成されており、記載金額等は歳入簿、歳出簿、証書類、財産台帳等と符合し、計数は正確であると認められた。

中沢財産区特別会計の決算内容及び予算執行状況等については、おおむね適正であると認められた。

決算の概要等については、審査の内容に記述するとおりである。

第5 審査の意見

相模原市基本構想では、基本目標の1つに「やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」を掲げているところである。

豊かな自然は、暮らしの中にやすらぎと潤いをもたらすものであり、財産区財産は、この一翼を担うものである。

こうしたことから、財産区においては公益的役割を踏まえつつ、財産区財政の健全な運営に引き続き努められるよう要望するものである。

第6 審査の内容

1 決算の概要

決算額は、歳入94万円、歳出70万円で、歳入歳出差引額は23万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないので、実質収支額も同額である。

決算額を前年度と比較すると、歳入は10万円(9.9%)、歳出は11万円(14.2%)の減少である。

決 算 の 状 況

(単位：円、%)

区 分	28 年 度	27 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	1,000,000	2,080,000	△ 1,080,000	△ 51.9
歳 入 決 算 額 A	942,923	1,046,623	△ 103,700	△ 9.9
歳 出 決 算 額 B	706,852	823,398	△ 116,546	△ 14.2
形 式 収 支 額 (A-B) C	236,071	223,225	12,846	5.8
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実 質 収 支 額 (C-D) E	236,071	223,225	12,846	5.8
前 年 度 実 質 収 支 額 F	223,225	262,680	△ 39,455	△ 15.0
単 年 度 収 支 額 (E-F)	12,846	△ 39,455	52,301	—

(1) 歳 入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	1,000,000	942,923	942,923	0	0	94.3	100
27	2,080,000	1,046,623	1,046,623	0	0	50.3	100
増減	△ 1,080,000	△ 103,700	△ 103,700	0	0	44.0	0
増減率	△ 51.9	△ 9.9	△ 9.9	—	—	—	—

歳入における決算の状況は、予算現額100万円に対し、調定額94万円で、その全額が収入済となっている。

前年度と比較すると、予算現額では108万円(51.9%)、調定額及び収入済額は10万円(9.9%)の減少となっている。

財源別対前年度比較

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額		構 成 比 率	
	28年度	27年度	28年度	27年度
自 主 財 源	943	1,047	100	100
依 存 財 源	0	0	0	0
計	943	1,047	100	100

(注1) 本表は、地方財政状況調査の分類方法を準用した。

(注2) 単位未満は四捨五入している。

収入済額は、すべて自主財源である。

第10款 県支出金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	1,000	0	0	0	0	0	—
27	1,000	0	0	0	0	0	—
増減	0	0	0	0	0	0	—

第15款 財産収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	346,000	319,698	319,698	0	0	92.4	100
27	349,000	333,935	333,935	0	0	95.7	100
増減	△ 3,000	△ 14,237	△ 14,237	0	0	△ 3.3	0

収入済額31万円を前年度と比較すると1万円(4.3%)の減少である。これは主として、中沢財産区運営基金に係る利子収入が1万円減少したことによるものである。

収入済額の主なもの

・ 水源林整備用地貸付料

25万円

第20款 繰入金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	473,000	400,000	400,000	0	0	84.6	100
27	1,554,000	450,000	450,000	0	0	29.0	100
増減	△ 1,081,000	△ 50,000	△ 50,000	0	0	55.6	0

収入済額40万円は中沢財産区運営基金繰入金で、前年度と比較すると5万円(11.1%)の減少である。

第25款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	178,000	223,225	223,225	0	0	125.4	100
27	174,000	262,680	262,680	0	0	151.0	100
増減	4,000	△ 39,455	△ 39,455	0	0	△ 25.6	0

収入済額22万円は前年度剰余金で、前年度と比較すると3万円(15.0%)の減少である。

第30款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	2,000	0	0	0	0	0	—
27	2,000	8	8	0	0	0.4	100
増減	0	△ 8	△ 8	0	0	△ 0.4	—

(2) 歳 出

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28	1,000,000	706,852	0	293,148	70.7
27	2,080,000	823,398	0	1,256,602	39.6
増減	△ 1,080,000	△ 116,546	0	△ 963,454	31.1
増減率	△ 51.9	△ 14.2	—	△ 76.7	—

歳出における決算の状況は、予算現額100万円に対し、支出済額70万円で、執行率は70.7%となっている。これらを前年度と比較すると、予算現額は108万円(51.9%)、支出済額は11万円(14.2%)の減少であり、執行率は31.1ポイント上昇している。

不用額29万円は、予算現額の29.3%(前年度60.4%)である。

第5款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28	307,000	238,100	0	68,900	77.6
27	308,000	229,461	0	78,539	74.5
増減	△ 1,000	8,639	0	△ 9,639	3.1

支出済額23万円を前年度と比較すると8千円(3.8%)の増加である。これは主として、議員報酬費が9千円増加したことによるものである。

支出済額の主なもの	
・ 議員報酬費	23万円
不用額	
・ 議会事務費	6万円

第10款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28	520,000	468,752	0	51,248	90.1
27	1,594,000	593,937	0	1,000,063	37.3
増減	△ 1,074,000	△ 125,185	0	△ 948,815	52.8

支出済額46万円を前年度と比較すると12万円(21.1%)の減少である。これは主として、中沢財産区議会議員通常選挙費が9万円減少したことによるものである。

支出済額の主なもの

- ・財産管理費 17万円
- ・一般管理費 15万円
- ・造林振興事業費 11万円

不用額の主なもの

- ・中沢財産区運営基金積立金 2万円
- ・一般管理費 2万円

第25款 予備費

(単位：円)

区分 年度	予 算 額	充 当 額	予 算 現 額	不 用 額
28	176,000	3,000	173,000	173,000
27	178,000	0	178,000	178,000
増減	△ 2,000	3,000	△ 5,000	△ 5,000

予備費の充当額は、3千円で前年度と比較すると3千円の増加である。

款別充当状況は、総務費3千円となっている。これは、特別高圧架空送電線路接近樹木伐採補償料配分金を支出するため充当されたものである。

2 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書に記載されている中沢財産区特別会計の計数は、次のとおりである。

実 質 収 支 額

(単位：千円)

会計区分	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額
		継 続 費 繰 越 額 通 次 繰 越 額	繰 越 明 許 費 繰 越 額 繰 越 額	事 故 繰 越 し 額 繰 越 額	
中沢財産区特別会計	236	0	0	0	236

3 財産に関する調書

公有財産及び基金の異動状況は、次のとおりである。

財 産 の 状 況

区 分		単位	前年度末現在高	本年度中増減高	本年度末現在高
公有財産	土 地	m ²	198,601.00	0	198,601.00
	出 資 に よ る 権 利	円	210,000	0	210,000
基金	資基金積立金 中沢財産区運営基金	円	17,863,410	△ 374,222	17,489,188

(土地のうち山林の内訳)

区 分	面 積 (m ²)			立木の推定蓄積量 (m ³)		
	前 年 度 末 現 在 高	本 年 度 中 増 減 高	本 年 度 末 現 在 高	前 年 度 末 現 在 高	本 年 度 中 増 減 高	本 年 度 末 現 在 高
山 林	198,601.00	0	198,601.00	3,913.12	31.29	3,944.41

(1) 公有財産

ア 土地

土地の年度末現在高は198,601m²で、前年度と同じである。

イ 出資による権利

出資による権利の年度末現在高は21万円で、前年度と同じである。

(2) 基金

基金の年度末現在高は1,748万円で、前年度と比較すると37万円減少している。